

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:R7年3月7日

事業所名: 児童発達支援 多機能型放課後等デイサービスみらいスイッチ小城

対象人数(保護者)13人 回答者数 11人 回収 84.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11		
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1	
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11		
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11		
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11		
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		
	⑪	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	3
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11		
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	6	2
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	3	
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		6	5
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11		
非常時等の対応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11		
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	
満足度	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	
	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	11		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	11		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらいスイッチ小城（児童発達支援）				公表日	R7年 3月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	法令で必要とされる数の職員を配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	他の部屋から運動療法室への出入りの際、段差があるためスロープを設置しています。	玄関口に段差（階段）があります。安全性を確認しながら、スロープなどの設置については検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	運動療法室も十分な広さがあり、作業や食育など、それぞれの目的に合わせて環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	年間の計画を作成し、定期的（月に1度）職員会議を行い、業務上の課題等を明確にしながら、業務を遂行するようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年、保護者等からの事業所評価を行っています。	実施したアンケート結果やご意向をもとにミーティングを行い、業務改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年、事業所として自己評価を行い、結果を公開している。	自己評価の結果をもとに、ミーティングを行い、共通理解を図るとともに改善についても協議を図っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		現在、第三者による外部評価の予定はありません。必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎月、社内研修が開かれています。当日参加できなくても、内容を録画したものを後から見ることで、全員が研修を受けることができます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	支援計画を作成する前に、必ず保護者との話し合いの機会を作り、アセスメントを行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	計画を作成する際には、スタッフも参加して支援会議を行い、内容について協議するとともに支援の取り組み・方向性の共通理解を図っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個々の支援計画について、一人ひとり目標に対する評価表を作成し、利用時には評価や気づきを記入するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	計画期間ごとに行うアセスメントの中で出てきたニーズや課題を基に、個別支援計画を作成しています。	標準化されたアセスメントツールというものは使用していません。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムについては、担当を決めて立案→提案する形をとっています。	今後も同様の形で進めていながら、計画的に取り組んでいきたいと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	イベント等について、同じ内容のものにならないように工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		全体的な課題については取り組んでいるが、きめ細やかな課題という点については十分ではないので、検討をしていきたいと思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝は必ずミーティングを行い、当日の内容や役割などを確認するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後、必ず打ち合わせを行い、その日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	評価表を作成し、毎日記録しています。全員についての記録が十分であるとはいえませんが、支援の検証・改善については積極的に話し合いを行っています。	継続して取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が会議に出席し、内容については後日職員間で共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	移行支援会議が開催される場合は必ず参加し、情報共有をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6		今後積極的に専門機関と連携を図っていきたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		今後、必要に応じて検討したいと考えます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		ペアレント・トレーニング等の家族支援については、今後研修などを検討していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	3		現在のところ定期的な計画はありませんが、ご要望などに応じて、面談なども行っていきたいと考えています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		現在のところ計画はしていませんが、必要に応じて今後検討したいと考えます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に1度お便りを送付しています。また、SNSも活用し、情報発信をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	児童のファイルは鍵付きのキャビネットに保管し、情報を持ち出さないように徹底しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	イベント時はお便りで準備物を周知したり、情報伝達しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		現在のところ計画はしていませんが、今後検討したいと考えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	7月、12月に火災避難訓練を実施。3月に地震を想定した避難訓練を行う予定です。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		服薬やてんかん発作等については確認しますが、予防接種については、全員分の確認までできていません。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4		現在、該当する利用者がいません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事案につきましては、共有および再発防止策の検討だけでなく、社内全事業所に対し、情報共有を図っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年間の計画に基づいて、虐待防止に対する社内研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず身体拘束を行うか、研修などを通して共通理解した上で、該当する利用者には個別支援計画にその旨を記載し、説明・了承を得ています。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいスイッチ小城（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アセスメント実施時に、保護者や本人のニーズを確認した上で、個別支援に活かしている。1人1人の発達段階や特性に配慮し、活動プログラムを工夫して取り組んでいる。	・全体のスケジュールだけでなく、利用者によって個別のスケジュールを作成し、自分で気づいて行動できるように促したり、同じ活動内容でも、個々の発達段階に応じて取り組み方を変えたりするなど工夫している。	・専門的支援や運動、生活スキルの取り組みについて、段階に応じて取り組む内容を明確にししながら、系統性を意識した取り組みを行うこと。 ・日々の評価表や、朝夕のミーティングでの情報共有を行い、より細やかな分析・評価を行う。
2	・新しいものを取り入れながら、イベントや企画を充実させている。	・運動的活動とその他の活動のバランスを意識して計画し、利用者の興味や関心を高めるように工夫している。	・利用者の興味や関心にも目を向け、利用者の意見を取り入れながら計画していく。また、定期的な同じイベントを実施し、身に付けてほしい目標について支援と評価を行いながら、理解や技能の向上を図っていく。
3	・毎月の会報の他にSNSを活用し、日々の利用者の様子や専門的支援の様子、イベントの内容告知など情報発信を行っている。	・活動内容の趣旨や目的についても記載し、事業所での取り組みについて理解してもらいやすいように工夫している。	・利用者及び保護者が知り得たい情報などについても探りながら、より効果的な情報発信を行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレント・トレーニングなどの家族支援について、取り組みが不十分である。	・悩みや課題等について相談がある場合は、保護者より連絡を受け、その都度対応している。必要に応じて話し合いの場を設定すると説明しているが、現在のところそままでの要望は見られていない。	・ペアレントトレーニングについては、研修参加や勉強会などを行いながら、今後理解を深めていく必要がある。
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会など保護者同士の交流の機会を設けていない。	・事業所単体という形ではなく、グループ全体で検討している。時間・場の設定などで難しい部分があり、現在のところ実施できていない。	・意図、目的を明確にした上で、どのように行っていくか検討していくことが望ましいと思われる。
3	・保育所やこども園、幼稚園等との交流や、他の子ども達と活動する機会が設定できていない。	・利用時間及び内容について考えた場合、難しい部分があり実施に至っていない。	・保育所への参観などを通して、連携を取りながら機会を作っていければと考える。